

# 兵庫県立大学 減災復興 国際シンポジウム

～ Global Academic Network for Disaster Reduction and Reconstruction ～

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科は2017年4月の開設を記念して、国際シンポジウムを開催します。インドネシアとネパールから専門家を招き、「**コミュニティ中心の災害復興 ～ Community-centered Recovery from Disaster ～**」をテーマに、それぞれの取り組みをご紹介いただくとともに、阪神・淡路大震災後の歩みを振り返ります。パネルディスカッションでは、国や文化を越えた災害復興の教訓について話し合います。

■ 日 時 2018年2月16日(金) 13:00～17:00(受付12:30～)

■ 会 場 ラッセホール2F ローズサローン (神戸市中央区中山手通4-10-8)

※神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車400m, JR・阪神「元町駅」下車 東改札口北へ700m

※お車でのご来場はご遠慮ください。

■ プログラム(敬称略) 同時通訳あり

基 調 講 演 コミュニティベースの災害復興: 2006～2017年ジョグジャカルタからの教訓  
ガジャマダ大学建築計画学科准教授 イカプトラ

ネパールからの報告

社会・文化的な観点からみた2015年地震からの復興

—Bhaktapur (Kathmandu Valley) と Jalbire (Sindhupalchok)

コパ工科大学都市デザイン・保存学部 教授 モハン・パント

ネパールの辺境の村から始まる持続可能な取り組み

CODE 海外災害援助市民センター 事務局長 吉椿雅道

兵庫からの報告

阪神・淡路大震災からの復興の教訓と世界への発信

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長 室崎益輝

『+クリエイティブ』で阪神・淡路大震災の教訓を世界に発信

NPO 法人プラス・アーツ 理事長 永田宏和

パネルディスカッション

パネリスト

ガジャマダ大学建築計画学科 准教授 イカプトラ

コパ工科大学都市デザイン・保存学部 教授 モハン・パント

CODE 海外災害援助市民センター 事務局長 吉椿雅道

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長 室崎益輝

NPO 法人プラス・アーツ 理事長 永田宏和

コーディネーター 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 准教授 澤田雅浩

■ 募集人数 100名(参加無料)

■ 申込方法 事前に「件名(2/16国際シンポジウム参加希望)」「ご所属」「お名前(ふりがな)」「ご連絡先(①お電話番号, ②FAX番号又はメールアドレス)」をご記入のうえ、FAX又はメールでお申し込み下さい。先着順とし、定員に達し次第締め切りとさせていただきます。受付が完了した方にはその旨の返信をいたしますので、ご確認ください。

※ご記入いただいた個人情報は本シンポジウムでのみ使用します。



■ お申し込み及びお問い合わせ先 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科

TEL 078-271-3290 FAX: 078-271-7202 MAIL: gensai@ofc.u-hyogo.ac.jp